



## 事業実績シート

### 2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費 (円)		3, 196, 641	3, 478, 084	3, 721, 040				
(財源内訳)	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	450, 000	450, 000	450, 000				
	市町振興共同事業助成金	1, 878, 000	1, 869, 000	1, 869, 000				
	一般財源	868, 641	1, 159, 084	1, 402, 040				
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	事前学習会を3回実施する。	参加生徒の目的意識を高め、より効果的な訪問交流にするため、事前学習会を実施する。	回	目標	3	3	3
					実績	3	3	3
				目標達成率 (%)	100%	100%	100%	
	②	生徒、保護者へアンケートを実施し、4段階評価において「たいへんよかった」が80%以上となることを目指す。	訪問の成果を評価し、改善を図るため、アンケートを実施する。	%	目標	80%	80%	80%
					実績	93.3%	100.0%	100.0%
目標達成率 (%)				116.6%	125.0%	125.0%		

### 3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+)  私益 (-)      公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input checked="" type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価 妥当性低い      妥当性高い (-)      0      (+) 	(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グローバル化が急速に進む現代社会において、国際理解教育や国際交流活動の実践や実体験をとおして、将来を担う国際感覚の醸成を期待できる。訪問前には、3回の事前学習会を行い、効果的な訪問になるようにしている。また、帰国後、報告会の実施や報告書を作成しており、訪問団員の報告書は、地元新聞社が、新聞に掲載してくれるので、広く市民にも成果が報告できている。</li> <li>・ 廃止の場合は、このような実体験の機会が失われてしまい、各学校の国際理解教育の検証の機会を失う。</li> </ul>	

## 事業実績シート

### 4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地		
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
	実施予定 期 日	訪問内容について、ジオパーク交流と日本人学校との交流は継続していきたい。キャリア教育の一環として次年度も、日本大使館への表敬訪問等、海外でなければ体験できないような内容を計画していきたい。	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)	
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない			
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		訪問に際しては、専門的なノウハウを持った地元旅行業者へ事業の一部を委託し、現地の旅行業者との連絡調整などを行っている。委託することで、事業を迅速かつ効果的に進めることができている。
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)
	<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		平成25度にシンガポールを訪問するようになってから、旅費の一部(30,000円)を個人負担とした。そのため、当分は個人負担を増やすことは難しいと考える。

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	<p>平成6年度に始まった本事業は一定の成果を上げており、今後も継続していきたい事業である。特に、訪問内容に香港のジオ交流、現地の日本企業の働く姿や学生との交流など、現地での活動を多く取り入れたことで、単なる旅行ではなく、研修として充実したものであった。また、在香港日本国総領事館松田邦紀大使を表敬訪問し、将来に向けての機長の講話をしていただいた。訪問した生徒は、様々な人々と接することで、自己の成長や将来を見つめる良い機会となっている。また、海外を訪れることによって、日本の良さ、島原の良さを感じとり、郷土を愛する気持ちがさらに高まった。</p>				